

矢田寺へんろみち保全活動報告

2014年6月18日

社会貢献推進委員

藤井記

1. 活動日時：2014年6月14日（土） 9:00～11:45
2. 参加者：23名（保全会2名、シャープ社員14名、シャープ社友会7名）
3. 保全活動前知識

矢田寺：

矢田寺は、高野山真言宗の寺院で奈良県大和郡山市にあります。高野山真言宗の開祖は弘法大師です。

大化の改新（645年）後4年の白鳳4年に大化の改新を推進した天武天皇が智通僧上に勅せられ、七堂伽藍48カ所坊を造営されたのがこのお寺の開基とのことで、天武天皇の御影堂もあります。

また、矢田寺は紫陽花寺としても有名で約60種、約1万本の紫陽花が植えられています。昭和40年頃に植え始めたとのことです。

矢田寺へんろみち

四国八十八か所巡りは、四国にある弘法大師ゆかりのお寺を巡る旅ですが、矢田寺の裏山にはこの八十八か所巡りを模した遍路道が作られています。一周約5kmで、大正時代に開かれたとのことで、八十八のお寺に相当する箇所には2体ずつお地蔵さんが建てられています。

現在、へんろみち保全会は遍路道内を紅葉で埋め尽くし、矢田寺を紅葉の寺としても有名にすべく保全活動を行っています。

奈良事業所は、「矢田寺へんろみち保全会」開催の「矢田寺へんろ道・紅葉公園整備作業」にSGC（シャープグリーンクラブ）活動として協力しています。

社友会も本年より「矢田寺へんろみち保全」活動に協力することに致しました。

4. 今回の矢田寺へんろみち保全活動

矢田寺へんろみち保全会の山下会長の指示に従い、奈良事業所の現役20名と社友6名が、紅葉の木の下の草刈りを行いました。

まず、矢田寺本堂に集合、山下会長、矢田寺住職、御手洗会長のお話があったあと、紫陽花が咲き誇っているなか天武天皇の御影堂に向かいました。御影堂には大鎌、三角ホウ、剪定ばさみが用意されており、各自どれかの道具を持って現場に行きました。

現場は夏草が生い茂り、急斜面でおまけに足場はよくありません。まず、大鎌や三角ホウを持った人が高く生い茂った夏草や雑木をなぎ倒し、そのあと剪定ばさみを持った人がきれいに仕上げるという手順でした。7年前に開始した時は、大変だったが、最近はそうでもないとの奈良事業所の話でしたが、なかなかタフな作業でした。

現場は広く、限られた人数、限られた時間内で、できることだけをしたという感じでしたが、刈り取ったところは目を見張るほどきれいになっており、成果の感じられる活動となりました。参加者の皆様、大変お疲れ様でした。

矢田寺本堂前で住職のお話



作業スタート



まずは大鎌でなぎ倒す



三角ホウを使ってなぎ倒す



剪定ばさみで仕上げる



剪定ばさみで仕上げる



作業終了後、お地蔵さんを囲んで



矢田寺は紫陽花満開

